



追悼 故 梅田正義 名誉教授

広島大学名誉教授梅田正義先生が不帰の客となりました。一九九三年一月一日、満七八才の誕生日に先立つことわずかに一日。先生は、一九四〇年（昭一五）東京帝国大学法学部のご卒業、四九年（昭二四）から学校教育学部の前身、広島師範学校・広島大学教育学部（東雲分校）に就任され、ご停年の七八年（昭五三）まで二九年間、研究と教育に尽くされました。

先生のご専門は、法学、特に憲法学で、権力分立論、司法権独立論、条約論等をはじめとした幾多の注目すべき業績を残されました。またそのかたわらで、社会科学教育にも少なからぬ関心をはらわれ、共同研究の主宰や後進の指導にも心をくだされました。ご退官の後、広島経済大学で、引き続き一二年間にわたって教鞭をとられ、同大学の名誉教授の称号をも受けられました。

スリムな体格で、とてもよく似合ったスーツをいつも潇洒に着こなし、すいすいと軽快な足取りで歩をはこんでおられた先生のお姿には、もうお目にかかれない。竹を割ったような飾り気のない氣質の先生は、世俗を超越した生き様をもつ典型的なお人柄のようにもみえました。先生の頭の回転の速さは人一倍、私などが話相手をしているとき、最初の話題をまだ十分飲み込めないであれこれ思案の最中にも、先生の方はさっさともう第二、第三の話題へ飛躍、あわてて調子を取り繕ったりしたこと一度ならず。

梅田先生！永い間、公私にわたりいろいろとご指導、ご鞭撻本当にありがとうございます。どうか安らかに眠り下さい。

（学校教育学部社会科学教育講座 佐中 忠司）



追悼 故 谷本 勉 名誉教授

名誉教授谷本勉先生は、去る一月二十九日脳血栓のため八十五年の生涯を終えられた。

先生は、昭和六年京都帝国大学文学部英文学科をご卒業後、広島女子専門学校（現広島県立女子大学）教授を経て、昭和二十四年広島大学皆実分校（現総合科学部）教授に就任された。昭和四十六年停年退官されるまで、二十二年間の長きにわたって一般教育課程の英語教育に専念されるとともに、この間、附属図書館皆実分館長や大学評議員の重責を担われ本学の運営発展に多大な貢献をされた。ご退官後は、しばらく安田女子大学教授としても、英語英文学の教育と研究に鋭意専念された。

広島高等学校第一回のご卒業の先生は、旧制高校のディレクタンティズムの気風を晩年まで失わず、英文学の作品の中でも、特にジョン・ゴールズウオージーやキャサリン・マンスフィールドの小説を耽読され、悠然と生きられた。先生は英文学研究を通じて、西欧精神についての幅広い学識と穏健中庸を尊ぶヒューマニスティックな人生観を体得され、これが温厚篤実なお人柄と相まって私たちに深い感銘を与えたことを思い出す。

先生は、長年の学問研究・教育のご業績によって、昭和五十三年勲三等旭日中綬章を受賞された。今筆者の脳裏に懐かしく浮かぶのは、酒席を共にした時の静かにお酒を嗜まれる古武士のような先生の風貌である。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

（総合科学部英語講座 藤本 黎時）